

## 第3次印西市環境基本計画(素案「たたき台」)への意見対応一覧

No	ご意見	修正前素案 該当ページ	対応	素案への対応方針	修正後素案 該当ページ
1	「里地里山環境の維持が特に求められる状況にあります。」とあるが、印西の特徴は、利便性のある都市機能と大きく広がる里山環境の複合的な組合せから生じる環境保全都市への可能性の高さであり、将来にわたる里地里山の維持をもっと強い言葉で表現するため「里地里山の維持が特に必要になる状況にあります。」を追加したらどうか。	2	修正	関連箇所について第3章の3-3印西市が目指す将来環境像に統合し、下記のとおり修正した。 「しかしながら、本市の魅力である自然環境は、農林業の衰退や離農者の増加などによる谷津の荒廃、外来生物の侵入・定着、地球温暖化やそれに伴う気候変動など、様々な問題により窮地に立たされています。 私たちは、本市の里地里山や水辺の維持・保全を通じて、人々の日常生活や事業活動のひとつひとつが自然環境や地球環境、水や資源の循環と密接につながっていることを実感し、自然との共存を意識した行動を心がけることが重要です。」	29
2	「これまで受け継がれてきた」という記述が甘く、今のまま維持すればよいのだという誤った認識をもたらす可能性があるため、印西市の里山環境は劣化が激しいことに触れておくべき。 →「また印西市内では、」の次に「農業人口の減少やニュータウン開発など（小規模な宅地造成も大問題だが）により里山生態系の劣化が進んでいます。」などを入れ、そのあとに「人口増加や……」をつなげると、よいのではないか。	2	修正	↓ 「しかしながら、本市の魅力である自然環境は、宅地造成や企業進出などに伴う開発行為の増加、産業構造や生活様式の変化などに伴う里山の荒廃、外来生物の侵入・定着、地球温暖化やそれに伴う気候変動などにより大きく変化しています。印西市の将来に向けては、本市を特徴づける里山・水辺をはじめとする自然環境の保全と利便性のある都市機能の向上により、自然と暮らしが調和した社会を構築するとともに、日常生活や事業活動のひとつひとつが環境と密接につながっていることを実感し、自然との共存を意識した行動を心がけることが重要です。」	29
3	「私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。」とあるが、社会情勢は大きく変化しているが、直面する環境の問題は今までと同じかより深刻化したものと思われる。	2	修正	「里山」に限定した場合、農地は関係ないように捉えかねないため、里地里山と表現していましたが、ご指摘を踏まえ、また他計画との整合も踏まえ、里山という表現に統一しました。	29
4	「里地里山」とあるが、環境省により指定された印西市の里地里山は、個人の所有になるものであり、維持が求められる主体について明確な文章とされたい。	2	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。 「自然環境とは、谷津を中心とした里地里山や生物多様性の場としての水辺の保全など、豊かな生態系の維持に関する分野です。地域の豊かな自然の保全・創出などに関する要素が含まれます。」	-
5	自然環境において、豊かな生態系の維持に関する分野と限定されているが、いかがなものか。	4	修正	↓ 「自然環境とは、緑や水辺の保全や豊かな生態系の維持、暮らしに安らぎと潤いを与える環境に関する分野です。谷津と台地を中心とした里山の保全や景観、公園の形成に関する要素が含まれます。」	5
6	環境基本計画を必要に応じて見直すところがあるが、少なくとも5年に1回は数値を見直すことなどを検討してはどうか。	4	修正	社会経済活動等の状況に応じて、指標における目標値や取組内容の見直しを検討することとします。	
7	環境問題は国際的な動きにより変わる。環境に臨機応変に対応する必要がある。	4	修正	素案における該当箇所は以下の通り修正。 「社会経済情勢や国・県などの関連計画の変化などに合わせ、必要に応じて計画の見直しを行います。」	4
8	「必要に応じて見直し」とあるが、例えば法改定や温暖化の政府方針など必要性に関して具体的に記載してはどうか。	4	修正	↓	
9	環境白書の進行管理の結果によっては、環境基本計画を見直し得ることを記載してはどうか。	4	修正	「社会経済活動の変化や国・県の動きなどに応じて、計画の施策内容や指標などについて見直しを行います。」	
10	台地の上の農地や雑木林も大切で、谷津は台地にしみこむ水があつてこそ成り立つ地形であることから、「谷津を中心とした」を「谷津と台地を中心とした」としてはどうか。	4	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。また、その他の同様の箇所についても以下の文言に統一しました。 「谷津を中心とした」→「谷津と台地を中心とした」	5
11	保全に取り組む市民や事業者を応援してほしい。 →「意識の高揚に努めます。」→「意識の高揚に努めるとともに、支援策を展開します」などとしてはどうか。	5	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。 「環境の保全及び創造に関する市民・事業者意識の高揚に努めます」 ↓ 「市民・事業者の環境保全意識の高揚を図るとともに、支援策の実施に努めます。」	6
12	表では農振応用地は増えて、遊休農地面積は減っている。環境指標としては、一枚の田の面積が少ない谷津田の耕作状況が重要と考えられ、別の統計値が適切ではないかと思えます。また、耕作放棄され荒地となったり、ソーラー発電に転用されるのうちの数値が今の環境を考えるうえで大事と思われる。	7	回答	ご指摘を踏まえ、次期計画の環境指標を見直します。	-
13	顔の絵で評価しているが個別に表情から判断するしかないため、良くないのは赤くするか、一目で分かるようにしてはどうか。	7	修正	ご指摘を踏まえ、表現方法の工夫について検討して参ります。	-
14	水辺環境に恵まれている地域とある。沼を散策できる地域にありながら、休む場所がない、トイレがない（双子公園だけ）。沼の汚れは、広大な農地から流れ出る廃水・家庭からの生活排水、新築のときの浄化槽の設置は何年前から分かりませんが、それ以前の家庭は垂れ流しと聞いている。トイレを水洗して生活排水はそのまま流している家庭があつても、飲食店はその数十件分を垂れ流している。	-	修正		
15	師戸川のBODについては、具体的な調査方針や改善方法の提案が提示されていてしかるべきと思う。	8	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。	
16	師戸川のBOD濃度について、「農業用水・肥料等の複合的な影響が考えられる」とあるが、委員会でも意見があつたとおり、推測で農業に問題があるかのような記載は避けた方がよい。	8	修正	「生活排水のみならず、農業用水・肥料等の複合的な影響が考えられるため」 ↓	24
17	「師戸川のBOD濃度について、生活排水のみならず、農業用水・肥料等の複合的な影響が考えられる」とあるが、この地域は水田が大きい地域ではなく、農家が悪いと聞こえないような表現に工夫してはどうか。	8	修正	「生活系や産業系、面源系などの排水による複合的な影響が考えられるため」	
18	表中下段、農業用水・肥料等と断定しているが、断定していいのかわかるか。	8	修正		
19	「生活排水のみならず、農業用水・肥料等の複合的な影響が考えられるため、」とあるが、「生活排水、農業用水・肥料等」の表現については、ストレートな表現を避けた方がよいのではないか。（例）生活系、産業系、面源系等の複合的な・・・など。	8	修正		
20	表中の市内河川の最終目標の環境基準が神崎川だけ低いのはなぜか？（ミスタイプか？）	8	回答	神崎川はA類型のため、B類型である亀成川や師戸川より低い環境基準が設定されています。	-
21	表中「資料館の来館者と市史刊行物発行数・・・」とあるが、計画との関連性が読み取れない。関連性がある場合、木下交流の杜歴史資料センターや文化財等は考慮しなくていいのかわかるか。	9	回答	現行計画における歴史・文化の保全に関する指標として設定されていましたが、ご指摘を踏まえ、次期計画においては関連する取組を統合し、指標を「指定文化財件数」とすることを検討します。	-

No	ご意見	修正前素案 該当ページ	対応	素案への対応方針	修正後素案 該当ページ
22	「カメラの増設」とあるが、「カメラの運用」としてはどうか。	9	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。 「カメラの増設」→「カメラの運用」	25
23	「『ふれあいバス利用者数』は・・・運行ルートや運行本数の拡大など、を・・・」運行ルートの再編など、としてはどうか。	10	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。 「依然として交通不便地域があることから、運行ルートや運行本数の拡大など」 ↓ 「依然として交通不便地域があることから、運行ルートの再編やデマンド交通の実施など」	26
24	「良好な街並みや計画の形成促進」を「良好な街並みや景観の形成促進」としてはどうか。	15	回答	実施済みアンケートの設問であるため、現段階では変更を保留しております。	16
25	「農薬や有害化学物質は適正に使用・管理する」とあるが、適正な使用・管理は、法令により義務であるにもかかわらず、実施されていないという結果を公表して問題ないか。	17	修正	ご指摘を踏まえ、該当する設問を非表示にしました。	19
26	「利根川・印旛沼」→「利根川・印旛沼・手賀沼」	21	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。 「利根川・印旛沼」→「利根川・印旛沼・手賀沼など」	9
27	「グリーンインフラとして、水質浄化、防災減災、生物多様性の保全、環境教育、農地の保全といった自然環境が有する多様な機能」とあるが、「環境教育」、「農地の保全」は、機能ではない。	21	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。 「水質浄化、防災減災、生物多様性の保全、環境教育、農地の保全といった自然環境が有する多様な機能」 ↓ 「防災・減災、生物多様性の保全、健康、環境教育の場の提供、水質浄化など、自然環境が有する多様な機能」	9
28	海洋プラスチック問題の●原因の2行目において、海の問題ではなく、自分の身近で落ちているプラスチックごみが問題なのだと記述する必要あり。→「海洋へ・・・」の前に「水路や河川を通して」を追加してはどうか。	22	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。 「ポイ捨てや意図的な投棄などにより、海洋へ流出していると考えられています。」 ↓ 「、ポイ捨てや意図的な投棄など不適切に廃棄されることで、水路や河川を通じて海に流れこむ「海洋プラスチックごみ」が世界的な問題となっています。」	10
29	海洋プラスチック問題の●対応する法律において、店頭で配るプラスチック（ビニール）袋の有料化や今後予定されている使い捨てプラスチック類の店頭での使用制限などを、法律でなくても、国の施策の方向として記述してはどうか。	22	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り追加しました。 「また、令和2（2020）年7月からは「レジ袋有料化」が開始され、プラスチックの消費に関わるライフスタイルの変革が始まっています。」	10
30	印西市の方向性 ・1つ目の2行目の文中の「厨芥類は焼却ごみの6%」の数値は印西グリーンセンターのごみ質分析の令和元年度平均からとったと思われるが、印西グリーンセンターは、印西市だけでなく白井市と栄町も区域に含まれるため、印西市の数値としてこれを使用するのに補足説明は必要ないか。また、当該データは令和元年度のみが低い値であり、他の年度は概ね16%程度（H29：15.6%、H30：16.4%、R2：16.1%）となっており、6%が適切な値か疑問である。	22	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。 「厨芥類（食品ロスを含む）は焼却ごみの6%を占めています。」 ↓ 「印西地区環境整備事業組合の印西グリーンセンターにおける厨芥類（食品ロスを含む）は焼却ごみの約16%を占めています。」	10
31	「農林業の衰退や離農者の増加などによる谷津の荒廃・・・など、様々な問題により窮地に立たされています。」とあるが、そのような見方があるにしても、「衰退」や「窮地」といった表現は過激に思われる。	25	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。 「しかしながら、本市の魅力である自然環境は、農林業の衰退や離農者の増加などによる谷津の荒廃、外来生物の侵入・定着、地球温暖化やそれに伴う気候変動など、様々な問題により窮地に立たされています。」 ↓ 「しかしながら、本市の魅力である自然環境は、宅地造成や企業進出などに伴う開発行為の増加、産業構造や生活様式の変化などに伴う里山の荒廃、外来生物の侵入・定着、地球温暖化やそれに伴う気候変動などにより大きく変化しています。」	30
32	「SDGsの概要」において、ページの最後に図のタイトルが示されている。図の上部にタイトルを移動してはどうか。	26	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の上部にタイトルを移動しました。	31
33	ウエディングケーキ型で並べてほしい。空間があいているので。自然環境あつてこそ私達の命。	27	修正	ご指摘を踏まえ、ウエディングケーキ型の表記を追加しました。	31
34	「基本目標2 生活環境」に「水・土壌環境の保全」に崖に関する市の方針が示されていない。残土しか触れられていないことに不満を持った。	28	修正	「基本目標2 生活環境」は典型7公害に関連する項目を示しています。 崖崩れは大雨など、気候に関連した内容となるため、災害分野に絡めて記載し、「基本目標4 脱炭素社会」の将来イメージにおける文言を以下の通り修正しました。 「大型台風に対する防災対策や異常高温に伴う熱中症予防への意識が高まるなど」 ↓ 「大型台風や崖崩れに対する防災対策、異常高温に伴う熱中症予防への意識が高まるなど」	53
35	“ゴール14”は、印西市に於ける基本目標1及び基本目標2と関係が薄いことから除くべきである。基本目標1については、まちづくりをうけて“ゴール11”が該当する。	29		ご指摘を踏まえ、基本目標1におけるゴール14を削除し、ゴール11を追加しました。	34
36	絵が小さいので、もう少し大きくなるとありがたい。	29	修正	ご指摘を踏まえ、SDGsのアイコンやその他箇所について拡大・修正しました。	34
37	26ページのSDGsの概要において、環境に関連する13ゴールについて説明したが、29ページには2のゴールが記載されていないため、循環型社会に2のゴールを追加させていただく。	29	修正	循環型社会に2のゴールを追加した。また脱炭素社会に8のゴールを追加した。	34
38	個別目標「生き物の生息・生育空間の把握」とあるが、施策には「生育・生息空間の把握」とあり、逆にしてはどうか。	30	修正	施策を「生きものの生息・生育空間の把握」としました。	35
39	個別目標「騒音、振動、臭気の防止」とあり、施策に「悪臭対策の推進」とある。44ページにも悪臭と臭気という表記がある。個別目標には「騒音、振動、臭気の防止」とある。言葉の使い方などどのような意図があるか。	30	修正	環境基本法で定められる典型7公害では「悪臭」と表記されるため、「臭気」を「悪臭」に統一します。また、該当施策は「騒音・振動・悪臭の防止」に含めました。	35
40	「大気汚染の監視・指導」「大気環境に関わる情報提供」と施策が2つあるが、41ページは「大気汚染の監視・指導」と施策が1つである。	30	修正	施策「大気環境の保全」とし、「大気汚染の監視・指導」と「大気環境に関わる情報提供」を統合しました。	35

No	ご意見	修正前素案 該当ページ	対応	素案への対応方針	修正後素案 該当ページ
41	里地と里山をわけるのがふさわしいかどうか。里地里山というときも一体としてとらえ、分けずに使っているように認識していた（環境省など）。しかし、二分する例が一般的になっているのであれば、そのようにきちんと定義した方がよい。里山として考えられてきた斜面林や台地や原っぱや水辺がこの基本計画では、違う定義をしているということを理解してもらう必要がある。 →分けることなく、里山環境の保全でよいのでは。台地の農地や樹林、草地、斜面林、谷津の農地や水辺（湿地、池、川）などの保全の方が、いままで通りで分かりやすい。	30	修正	「里山」に限定した場合、農地は関係ないように捉えかねないため、里地里山と表現していましたが、ご指摘を踏まえ、また他計画との整合も踏まえ、里山という表現に統一しました。	35
42	里地里山とあるが、環境省選定「生物多様性保全上重要な里地里山」に市内3か所が選定されていることからこの表記が全体的に用いられているが、これを市全体とらえているということによるのか。	28			
43	施策の内容について、「印西市景観計画」に基づき「里地里山風景を活かした…」とあるが、「印西市景観計画」において「里地」という表現は使用していない。「里地」は一般的な表現であるか。※にて、用語解説を付してはどうか。	38			
44	将来イメージ「初夏に飛翔するホタルなど、市民や観光客にとって魅力ある自然環境～」という観光客の表現は適当か。例えば、ホタルについては毎年観察会が開催されるなど豊かな自然環境、そして、市民に親しまれているという表現にとどめてはどうか。	32	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。 「初夏に飛翔するホタルなど、市民や観光客にとって魅力ある自然環境が継承されています」 ↓ 「初夏にはホタルの観察会が開催され、古くから市民に親しまれてきた自然環境が継承されています。」	38
45	ホタルを観光資源として考えるのは、環境基本計画の理念とは別のものであり、観光施策の中で示すもの。もし、観光資源ととらえるなら、それから守るための対応を書くのが環境基本計画では。市民にとってプラスだけというのでは物足りないなら、せめて「観光客」→「事業者」（誘致された企業など）	32			
46	観光客とあるが、市の観光の方向性が確定していないのにホタルなどと記載して問題ないか。	32			
47	●の3番目 水辺 将来像において、水辺環境を通じた環境教育により、市民や事業者（事業者を追加）の水辺についての関心が向上している。また、水質調査などにより、水質が悪化している水辺については、悪化原因を突き止めて、適切な指導がなされ、以下に述べる対策がとられている。①と② ①水辺の管理（草刈や堆積土の除去、造成地などの流入を防止、底質を悪化させない、池などの周辺の樹木の枝払いや伐採を積極的にを行い、富栄養化を防ぐ、アメリカザリガニやナガエツルノゲイトウなどの在来種を減らすリスクの高い生物の除去など） ②湧水確保のためには、台地が従前どおり雨水涵養と地下浸透の役目を果たすよう台地の開発の制限や、開発する場合、地下浸透させる仕組みを絶対条件とする。 ③水質調査結果により、水質汚染を止めさせる仕組み。	32	修正	ご意見を踏まえ、該当箇所を以下の通り修正しました。 また、①～③については施策の検討において参考とさせていただきます。 「水辺環境を通じた環境教育により、市民における水辺への関心が向上しているとともに、水辺の清掃活動や水質調査に基づき適切な環境が維持されています。」 ↓ 「水辺を通じた環境教育や清掃活動により、市民・事業者の水辺への関心が向上しているとともに、湧水や河川の水質調査により、水質・水量などを把握し、適切な対応を図ることで、本市の水辺環境が維持されています。」	38
48	地域の歴史…の項における、「街中における緑の保全活動」や「～街づくりが行われています」と記述について全体的な意味がつかみにくい。	32	修正	ご意見を踏まえ、該当箇所を以下の通り修正しました。 「地域の歴史・文化を伝える文化財や祭りなどが適切に保存されており、街中における緑の保全活動によって、自然との調和が感じられるまちづくりが行われています。」 ↓ 「地域の文化財や歴史資料などが適切に保存されており、文化・歴史と自然の調和が感じられるまちづくりが行われています。」	38
49	「…行政の協働により取り組んでいきます」とあるが、「協働」というよりは「連携」の方が適切ではないか。 ⇒「…行政が連携を図り取り組んでいきます」	33	回答	基本目標「人づくり：パートナーシップを構築し協働で環境保全に取り組むまちづくり」に使用される文言に統一している。ご意見として頂戴し、全体な指摘を踏まえたうえで、変更について検討して行きます。	-
50	環境指標 3 項目「田・畑・山林・原野面積」は、上記 2 項目があれば不要ではないか。	33	修正	ご意見を踏まえて、田・畑・山林・原野面積を削除した。	39
51	環境指標 4 項目「里山保全活動団体数」について、農政課関連であるならば、「多面的機能支払交付金活動団体」に変更願いたい。 ※34ページの表5項目も当該活動団体向けの文面に修正を後段のとおり提案する。	33	回答	環境保全課関連であり、環境配慮行動の推進の指標に変更した。	59
52	環境指標 6 項目、7 項目「市民農園面積」及び「農業体験教室実施数」の項目は、里地里山環境の保全との関連性は薄いので削除願いたい。	33	修正	ご意見を踏まえて、「市民農園面積」及び「農業体験教室実施数」を削除した。	39
53	上段「人と自然が関わりあい形づくってきた歴史と文化…」とあるが、市の歴史と文化を示していると記載する根拠に乏しいと考えられる。	33	修正	ご意見を踏まえて、該当する箇所を「個別目標 3：暮らしと自然のつながりの確保」に移動した。	43
54	個別目標 1 里地里山環境の保全 現状と施策展開の方針の指標について、取組指標の中に、新規就農者数を入れてはどうか。	33	修正	ご意見を踏まえて、「新規就農者数」を追加した。	39
55	① 現状と施策展開の方針には、“谷津をはじめとする豊かな里地里山は”とあるが、施策の内容には谷津を保全する取組みが記載されていないので、施策を講じるべきである。	34	修正	ご意見を踏まえ、該当箇所以下の取組を追加しました。	40
56	里地・里山のうち、谷津田周辺の保全・活用の仕組みづくりの検討を位置づけてはどうか。 P34の里地の保全の施策では谷津田の保全はできない。また、谷津田の保全・活用を農政課だけの担当とするのは荷が重いと思われる。	34,67	修正	「谷津の保全に向け、営農地については土地所有者と行政、遊休農地については土地所有者、市民、事業者、行政などの協働に基づく保全・活用に向けた仕組みづくりを検討します。」	40
57	表 1 項目施策の実情とズレ等があるので修正願いたい。 (修正案) 優良な農地を保全するために農用地区域を指定します。	34	修正	ご意見を踏まえ、該当箇所を以下の通り修正しました。 「農用地区域の指定を継続するとともに、意欲ある農業の担い手へ優良農地の利用集積を促進するための情報提供を行います。」 ↓ 「優良な農地を保全するために農用地区域を指定します。」	40
58	表 2 項目施策の実情とズレ等があるので修正願いたい。 (修正案) 農業従事者の高齢化や後継者不足などによる農地の荒廃などを防ぐため、農業後継者や新規就農者を支援するとともに、意欲ある担い手に農地の利用集積を促進します。	34	修正	ご意見を踏まえ、該当箇所を以下の通り修正しました。 「農業後継者の育成や新規就農者の受け入れ環境の整備などの支援により、農業従事者の減少を抑え、遊休農地の発生を抑制します。」 ↓ 「農業従事者の高齢化や後継者不足などによる農地の荒廃などを防ぐため、農業後継者や新規就農者を支援するとともに、意欲ある担い手に農地の利用集積を促進します。」	40

No	ご意見	修正前素案 該当ページ	対応	素案への対応方針	修正後素案 該当ページ
59	表3 項目里地（農地）の保全に係る施策ではないので項目を削除願いたい。	34	修正	ご意見を踏まえ、該当箇所を以下の通り修正しました。 「市内の保育園・幼稚園、小学校において児童への食育や農業体験教室を実施するほか、市内の農作物直売所へ販売用包装シートに係る経費の補助を行い、農作物の地産地消を推進します。」	40
60	「市内の農作物直売所へ販売用包装シートに係る経費の補助を行い」とあるが、毎年包装シートに補助しているものでないため、表現を修正してはどうか。（例）市内の農作物直売所等が行う販売促進事業に対する支援等を行い、・・・など。	34	修正	↓ 「農作物の地産地消を振興するため、農作物直売所が行う販売促進事業を支援するとともに、保育園・学校施設などにおける食育や農業体験を実施します。」	
61	表4 項目●「推進」→「促進」	34	修正	ご意見を踏まえ、該当箇所を以下の通り修正しました。 「低農薬・無農薬栽培の補助事業について情報提供を行い、環境保全型農業を推進します。」 ↓ 「環境保全型農業を促進するため、低農薬・無農薬栽培を支援します。」	40
62	② 里山を整備する施策を講じるべきである。意識啓発は当然の事として、具体的な行動に結びつける施策が望まれる。	34	修正	ご意見を踏まえ、以下の3取組を講じて参ります。 「保全活動の担い手の確保や育成に向け、森林整備補助事業を実施します。」 「地域指定民有林やその他樹林地において、所有権の調査や森林環境譲与税を活用した維持管理の仕組みづくりなどを検討していきます。」 「市民・事業者・行政の協働による里山保全事業を実施します。」	40
63	「行政が土地所有者の農家と橋渡しを行い、市民団体やNPO 法人などが参加して行う農地保全の仕組みづくりを検討します。」とあるが、地元農産物を積極的に購入することが、里山里山保全につながると意識づけるため、生産者と消費者が直接結びつく機会づくりの推進（例えば畑買い・消費者が生産者の農地に出向き収穫と購入をする 農家の高齢化対策の一助になる）等を考慮に入れた施策の推進を検討し、里地の保全に関して地元農産物を消費者が優先的に購入する意識づけの強化してはどうか。	34	修正	ご意見を踏まえ、該当箇所を以下の通り修正しました。なお、地産地消の進行についても別取組について位置づけを検討します。 「行政が土地所有者の農家と橋渡しを行い、市民団体やNPO 法人などが参加して行う農地保全の仕組みづくりを検討します。」	40
64	表5 項目施策の実情とズレ等があるので修正願いたい。 （修正案） 水路、農道、法面等の農業を支える共用施設の保全管理に取り組む農業者や地域住民の共同作業を支援します。	34	修正	↓ 「水路、農道や法面などの農業を支える共用施設の保全管理に取り組む農業者や地域住民の共同作業を支援します。」	40
65	デリケートな昆虫を環境資源にすることは避けるのが環境を守ることにになると考える。	35			
66	シンボルにするのか？ 安易にホテルを知らせることはこの段階ではやめたほうがよいのではないか。	35			
67	「ホテルは市民や観光客にとって本市を特徴付けるシンボルのひとつ～」とあるが、観光客や本市を特徴付けるシンボルという表現は適当か。例えば、ホテルについては毎年観覧会が開催されるなど豊かな自然環境、そして、市民に親しまれているという表現にとどめてはどうか。	35	修正	シンボルという表現については見直し、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。 「初夏に谷津周辺で飛翔するホテルは市民や観光客にとって本市を特徴付けるシンボルのひとつとなっています」 ↓ 「初夏に谷津周辺で飛翔するホテルは毎年多くの市民が見に訪れ、古くから地域で親しまれてきました。」	41
68	「ホテルは市民や観光客にとって本市を特徴付けるシンボル…」とあるが、生息数(環境)や知名度が高いと言えないため記載について見直しが必要。	35			
69	「ホテルは市民や観光客にとって本市を特徴付けるシンボルのひとつとなっています。」とあるが、観光客も含め、本市を特徴付けるシンボル…とまで表現してよいのか？ 豊かな自然環境…観覧会の開催…市民に親しまれている…といったキーワードで表現した方がよいのではないか。	35			
70	「巨樹・古木本数」とあるが、調査方法や集計方法を同一とし、適切に比較が行える資料であることが求められる。	35	修正	ご指摘の通り、適切に比較が行える資料であることが求められます。現段階では指標に落とし込まず、取組として記載しました。 「市域全域での巨樹・古木調査を定期的実施し、所有者と行政が連携の下、巨樹・古木の把握及び適切な保全を図ります。」 ↓ 「地域のランドマークやシンボルとなる巨樹・古木などの独立樹の保全に向け、定期的な調査を実施します。」	42
71	現状や方針の中に「巨木・古木本数」の記載や説明がないのに表中指標に記載されており、現状や方針の説明がないため、指標とする根拠や関連性が読み取りにくい。	35	修正		
72	有害鳥獣にコブハクチョウを追加。きれいだ、美しいと言っている間に、農業被害が増大している。すでに手遅れかもしれないが、きちんと知らせるべき。	35	修正	ご意見を踏まえ、該当箇所を以下の通り修正しました。 「イノシシやハクビシンなどの有害鳥獣」→「イノシシ、ハクビシンやコブハクチョウなどの有害鳥獣」	41
73	水辺環境の保全において、以下に述べる対策がとられている。 ①水辺の管理（草刈や堆積土の除去、造成地などの流入を防ぎ、底質を悪化させない、池などの周辺の樹木の枝払いや伐採を積極的に行い、富栄養化を防ぐ、アメリカザリガニやナガエツルノゲイトウなどの在来種を減らすリスクの高い生物の除去など）	36	修正	外来種への対策については、施策「多様な生態系の保全」で実施します。該当箇所については、ご意見を踏まえ以下の通り修正しました。 「外来種への対策として、県と連携し、市域における特定外来生物の防除を実施するほか、家庭で飼育されているペットについて、飼い主に適切な管理や野外への放逐禁止を呼びかけます。」 ↓ 「外来種への対策として、県と連携し、市域における在来種の生息・生育状況に悪影響を与えるリスクの高い特定外来生物の防除を実施します。」	42
74	水辺環境の保全において、以下に述べる対策がとられている。 ①水辺の管理（草刈や堆積土の除去、造成地などの流入を防ぎ、底質を悪化させない、池などの周辺の樹木の枝払いや伐採を積極的に行い、富栄養化を防ぐ、アメリカザリガニやナガエツルノゲイトウなどの在来種を減らすリスクの高い生物の除去など）	36	修正	ご意見を踏まえ、該当箇所を以下の通り修正しました。 「水辺環境の維持管理として、印旛沼や手賀沼流域の河川における清掃活動を実施します。」 ↓ 「印旛沼・手賀沼周辺において、草刈や堆積土の除去、周辺の樹木の枝払いや伐採など、市民参加による水辺の清掃活動や保全活動を実施します。」	42

No	ご意見	修正前素案 該当ページ	対応	素案への対応方針	修正後素案 該当ページ
75	水辺環境の保全において、以下に述べる対策がとられている。 ②湧水確保のためには、台地が従前どおり雨水涵養と地下浸透の役目を果たすよう台地の開発の制限や、開発する場合、地下浸透させる仕組みを絶対条件とする。	36	修正	②のご意見については、基本目標2 生活環境の施策「水・土壌環境の保全」で扱います。ご意見を踏まえ、該当箇所を以下の通り修正しました。 「市域における透水性舗装の整備を進めるほか、家庭や事業所における雨水貯留施設・雨水浸透施設の設置を要請し、雨水浸透を推進します。」 ↓ 「台地での降雨の適正な水循環を図っていくため、雨水貯留施設や雨水浸透柵などの設置普及を進めます。」	47
76	水辺環境の保全において、以下に述べる対策がとられている。 ③水質調査結果により、水質汚染を止めさせる仕組み。	36	回答	③のご意見については、基本目標2 生活環境の施策「水・土壌環境の保全」で扱います。下記の取組が該当しています。 「市内の水質環境を把握するため、河川、湧水、地下水及び工場排水などの水質の定期測定を実施します。水質事故の発生時には発生源施設への立ち入りや指導を行います。」	47
77	環境学習会やイベントの開催(環境保全課)との記載があるがP61・62 のイベントについては、生涯学習課となっているが、整合を図るべきである(生涯学習課としての主催事業を行うという意味か?)。	36	修正	表現については区別できるよう努めて参ります。36Pに記載のイベントについては、環境保全課を想定したものであるため、ご意見を踏まえ、該当箇所を以下の通り修正しました。 「生物多様性の重要性について普及啓発するほか、関連イベントの開催を支援し、生物多様性に関する情報発信に努めます。」 ↓ 「動植物が息息・生育する場所の環境保全意識の高揚を図り、野生生物全般の乱獲や過度な採取を抑制するため、自然探訪や自然教室など身近な自然と触れ合う機会を提供します。」	42
78	印西市を取り囲む印旛沼・手賀沼・利根川と里山からなる生態系ネットワークを維持する(破壊しない) 開発や公園づくりに取り組みますという趣旨を追加してはどうか。	37	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。  「「印西市景観計画」(2018(平成30)年10月施行)に基づき、木下・大森地区や千葉ニュータウン中央地区など、地域ごとの特性も踏まえながら、市街地と自然、歴史・文化が調和したまちづくりを行っていきます。」 ↓ 「「印西市景観計画」に基づき、市街地と自然、歴史・文化が調和したまちづくりを行うとともに、公園美化活動の推進、開発行為の規制・誘導や緑化の要請などにより、生態系ネットワークを維持しながら、暮らしと自然のつながりの確保を図っていきます。」	43
79	「「印西市景観計画」(2018(平成30)年10月施行)に基づき」とあるが、(2018(平成30)年10月施行)を削除されたい。	37	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。 「印西市景観計画(2018平成30年10月施行)」→「印西市景観計画」	43
80	「印西市景観計画」(2018(平成30)年10月施行)に…とあるが、(2018(平成30)年10月施行)の記載の必要はないと考えられる。	37			
81	「公園美化活動を推進するほか、事業者における開発行為の規制や緑化の要請などにより～」とあり、施策の内容にも「街中における緑の保全に努めます」とある。緑の保全は市全域が対象であると考えられるが、街中だけでいいか。	37	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。 (現状と施策展開の方針) 「街中における緑の充実を図っていきます」→「暮らしと自然のつながりの確保を図っていきます」 (施策の内容 自然と調和したまちづくり) 「開発行為を行う事業者に対し、印西市開発事業指導要綱に基づく指導を実施するなど、開発行為の規制により土地利用の適正な誘導を行い、街中における緑の保全に努めます。」 ↓ 「大規模な開発行為や宅地造成工事などに際しては、景観法や環境影響評価法などの関係法令や印西市開発事業指導要綱に基づき、適切な土地利用を図るよう誘導・指導します。」	44
82	開発行為の規制という表記を、「規制・誘導」にしてはどうか。	37	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。 「開発行為の規制」→「開発行為の規制・誘導」	43
83	人口は増加傾向であることから、「市民1人当たりの都市公園面積」は現状より減少する見込みであるため、目標値には適切ではない。	37	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所を指標から削除しました。	43
84	「緑地面積の割合」とあるが、緑地面積の調査は「印西市緑の基本計画」の中間年次(令和12年度)及び目標年次(令和22年度)に実施する予定であるため、次回の面積の調査は早くても2031年度となる。そのため、年度ごとの進捗管理は困難であると考えられる。	37	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所を指標から削除しました。	43
85	「市民と協働で管理している公園数」とあるが、美化活動団体によって、活動している公園が重複している場合があるため、公園数ではなく、美化活動の団体数としてはどうか。	37	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。 「市民と協働で管理している公園数」→「公園美化活動の団体数」	43
86	「商業施設が立地する区間…」とあるが、土地勘のない人にはわかりにくい表現ではないか。	37	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。 「一方、私たちの生活の中心を担う市街地では、千葉ニュータウンなど全体的にまとまりのある景観の地域もあるものの、国道464号の商業施設が立地する区間では、大規模な建築物や屋外広告物などにより良好な景観が損なわれている箇所もあります。」 ↓ 「一方、千葉ニュータウンを中心とした計画的に整備された市街地では、全体的にまとまりのある景観が形成されているものの、一部には、大規模な建築物や屋外広告物など周辺と調和しない景観も見られます。」	43
87	表中「文化財指定数」とあるが、文化財指定数と環境指標の関連性が不明である。	37	修正	ご指摘を踏まえ、現状と施策展開の方針に以下の文言を追加しました。 「社寺仏閣や木下貝層などの貴重な歴史的な文化財が多く残されており、その周辺には社寺林や屋敷林などが残り、人と自然が関わりあい形づくってきた本市の歴史と文化を示しています。」	43

No	ご意見	修正前素案 該当ページ	対応	素案への対応方針	修正後素案 該当ページ
88	歴史文化財に恵まれ 印西市にはふるさと発見フォトコンテストというのがあります。これを活用して、歴史文化財をテーマとしてはどうか。撮る方も分かりやすく扱いやすい。	-	修正	ご指摘を踏まえ、以下の取組を追加しました。 「良好な景観形成に寄与した建築物や市民・事業者の活動などを表彰する制度の創設を検討します。また、市民が印西市で守り、育み、次世代に残していきたい景観（眺め、眺望ポイント、景観資源）を公募によって発掘する（仮称）「いんざい景観資産」制度の創設を検討します。」	44
89	「水辺周辺のサイクリングコース⇒サイクリング・ウォーキングコース」とあるが、里山の農道を利用したウォーキングコースもある。	38	修正	該当箇所については検討が必要なため、記載を保留しました。	44
90	「開発行為を行う事業者に対し、印西市開発事業指導要綱に基づく指導を実施するなど、開発行為の規制により土地利用の適正な誘導を行い～」とあるが、開発行為を行う事業者に対する前置きがあるため、「開発行為の規制により」を削除してはどうか。	38	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。 「開発行為を行う事業者に対し、印西市開発事業指導要綱に基づく指導を実施するなど、開発行為の規制により土地利用の適正な誘導を行い、街中における緑の保全に努めます。」 → 「大規模な開発行為や宅地造成工事などに際しては、景観法や環境影響評価法などの関係法令や印西市開発事業指導要綱に基づき、適切な土地利用を図るよう誘導・指導します。」	44
91	「公共施設及び市街地の道路における緑化を実施するとともに、」とあるが、公共施設の緑化の推進は都市整備課が行っているものの、実施主体は施設所管課となる。	38	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所の文言を以下の通り修正しました。 「公共施設及び市街地の道路における緑化を実施するとともに、戸建住宅の開発に際した植栽の要請や花苗・種子の配布などにより、工場や事業所、住宅における緑化を促進します。」 ↓ 「緑地協定により、住宅地の緑化の促進に努めます。また、一定規模以上の工場や事業所などについては、事業者に対して緑地協定に基づいた緑の創出を要請します。」	44
92	「戸建住宅の開発に際した植栽の要請」とあるが、第5項目の内容と重複しているため、除いてはどうか。	38			
93	「花苗・種子の配布などにより、工場や事業所、住宅における緑化を促進」とあるが、都市整備課では工場や事業所、住宅に配布を行っていない。	38	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所については、以下の通り修正しました。 「公共施設及び市街地の道路における緑化を実施するとともに、戸建住宅の開発に際した植栽の要請や花苗・種子の配布などにより、工場や事業所、住宅における緑化を促進します。」 「公園・緑地における樹木や花壇などを適正に管理するとともに、一部の都市公園については防災拠点としての管理に努めます。」 ↓ 「うるおいのある生活空間の創出に向けて、公園における花壇づくりや植栽を奨励し、四季を通して市内各所に花が咲き誇る魅力あるまちづくりを市民とともに進めます。」	44
94	「一部の都市公園については、防災拠点としての管理に努めます」とあるが、防災拠点としての管理はしていないため、「花壇などの適正な管理に努めます」ではどうか。	38	修正		
95	都市整備課、都市計画課について、緑の基本計画に基づき、（緑の基本計画の趣旨）のまちづくりを推進しますと追加してはどうか。	38	回答	現時点では追加を保留しております。「自然と調和したまちづくり」の取組の多くは緑の基本計画の内容に基づいています。	44
96	「歴史的資料の保全・管理」とあるが、一般的に「保護・活用」という語句を使用している。	38	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所については、以下の通り修正しました。 「市内の文化財指定地やその他の歴史的資料の保全・管理を実施します。」 ↓ 「郷土伝統文化の継承・公開や史跡整備・活用事業などを通して、文化財の保護・活用を推進していきます。」	44
97	“ゴール14”は、印西市に於ける基本目標2と関係が薄いことから除くべきである。	39	修正	ご指摘を踏まえ、基本目標2におけるゴール14を削除しました。	45
98	「大気環境の定期的な観測を行っています。」とあるが、県の高花測定局は、常時監視システムと思うが、左記の表現で宜しいか。	40	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所については、修正しました。 「大気環境の定期的な観測」→「年間を通じて大気の状態が観測されています」 また、関連する取組についても、以下の通り修正しました。 「市内の大気環境を把握するため、定期的な大気測定を実施します。」 ↓ 「大気環境を常時監視するとともに、環境基準を超過した際は注意喚起を行います。」	46・47
99	「居住環境」とあるが、居住環境だと住まいの快適さなどの狭義な印象があるため、住まいだけでなく農地や山林等も含む人々が生活を営む広義な環境を含む印象のある「生活環境」又は「住環境」としてはどうか。	39・40	修正	居住環境という表現については生活環境に統一を図るよう努めて参ります。	45
100	焼却炉の適正使用の推進について、記述の必要性。	41	修正	ご指摘を踏まえ、また、実施の難しい取組であるとの理由から、該当箇所については削除しました。 「基準外焼却炉の使用について焼却行為の禁止を周知し、焼却炉の適正使用を推進します。」	47
101	「印旛沼・手賀沼のCOD濃度は近年環境基準を大幅に超過したまま微増傾向で推移しており」とあるが、千葉県が公表した令和2年度の公共用水域の水質測定結果では、印旛沼・手賀沼ともに横這いの評価である。特に手賀沼については、昭和から平成初期の数値と比較すればかなりの改善は見られている。その上で表現を再度検討してはどうか。	42	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所については、以下の通り修正しました。 「私たちの生活や事業活動から出る排水の流入による師戸川の水質悪化、または水中や底泥に蓄積した窒素及びりんなどを栄養源とした藻類の発生などの様々な要因により、印旛沼・手賀沼のCOD濃度は近年環境基準を大幅に超過したまま微増傾向で推移しており、その水質は全国的に見ても低い水準となっています。」 ↓ 「水質環境については、公共下水道の整備、認可区域外における合併処理浄化槽の普及などの対策を実施してきました。師戸川や印旛沼・手賀沼などの水質改善に向け、生活系、産業系や面源系などの排水による複合的な要因を踏まえた新たな取組や広域的な連携が必要となっています。」	46
102	「私たちの生活や事業活動から出る排水の流入による師戸川の水質悪化、または水中や底泥に蓄積した窒素及びりんなどを栄養源とした藻類の発生などの様々な要因により、印旛沼・手賀沼のCOD濃度は近年環境基準を大幅に超過したまま微増傾向で推移しており、その水質は全国的に見ても低い水準となっています。」とあるが、左記の表現だと、印旛沼の水質悪化の主要因の一つに師戸川の水質悪化が挙げられていると感じられ、誤解を招かないために、師戸川の水質悪化と「または・・・」以降の文言を一回切って分けてはどうか。※ 或いは誤解を招かないよう全体の表現を修正してはどうか。	42	修正		46
103	個別目標 2 水・土壌環境の保全について、不法な残土埋立のリスクが高い地理的・自然的要因は、「農地や樹林地が多く残る」ことではなく、「台地が侵食してきた谷津が多い」という地形的な要因ではないか。	42	修正	誤解を招く表現であるため、該当箇所については削除しました。	46

No	ご意見	修正前素案 該当ページ	対応	素案への対応方針	修正後素案 該当ページ
104	「水質汚濁を防止するため」とあるが、いきなり水質汚濁の防止ではなく、まずは市内の状況を把握するため監視・測定等を行うのではないか。(例)「市内の水質の状況を把握するため」。	43	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所については、以下の通り修正しました。 「水質汚濁を防止するため、河川、湧水及び地下水における定期的な水質測定を実施します。」 ↓ 「市内の水質環境を把握するため、河川、湧水、地下水及び工場排水などの水質の定期測定を実施します。水質事故の発生時には発生源施設への立ち入りや指導を行います。」	47
105	「浄化槽設置者に対して、・・・検査・指導を実施します。」とあるが、浄化槽の維持管理は自己管理が重要であり、水質保全に重要な役割をもつため、維持管理の重要性の啓発について文言を加えたらどうか？(例) 浄化槽設置後の維持管理の重要性について周知・啓発の徹底を図ります。	43	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所については、以下の通り修正しました。 「浄化槽設置者に対して、設置から5年後の維持管理の検査・指導を実施します。」 ↓ 「公共下水道が整備されていない地区における高度処理型合併処理浄化槽の普及を促進するとともに、浄化槽設置後の維持管理の必要性を周知徹底します。」	47
106	「また、臭気については農業が盛んであるという地域特性を背景として、主に農作業で使用される堆肥や有機肥料の臭いが悪臭として捉えられるケースが見受けられます」とあり、農作業の肥料が悪臭の原因と捉えられかねない表現になっている。もう少し表現を和らげてはどうか。	44	修正	誤解を招く表現であるため、該当箇所については削除しました。	46
107	「農作業で使用される堆肥や有機肥料の臭いが悪臭・・・発生源へ適切な指導・・・」とあるが、委員会でも意見があったとおり、適正な使用がされていれば指導は難しいのではないか。	44			
108	中段 臭気についての項について、都市生活者等から見たイメージとして理解できるが、農業を生業としている市民も多く、堆肥や有機肥料が環境側面から見ても有用であると考えられるため「悪臭」という表現は別の表現に変更したほうが良い。	44			
109	半減期に伴い放出されたセシウムは崩壊しており、公共施設の線量測定は意味あるものではなく一方、生物濃縮が懸念され、県の役割と重複することはあっても、竹の子、キノコ、淡水魚を環境指標としてはどうか。	46	回答	ご指摘を踏まえ、進行管理において竹の子、キノコ、淡水魚について測定を検討します。 環境指標に設定するかは、現段階では保留としています。	-
110	上段 事故をきっかけかとしてとあるが、「きっかけ」ではないか。	46	修正	該当箇所をご指摘の通り修正しました。	48
111	個別目標 4 有害化学物質対策の推進について、「広報」とあるが、その他の箇所では「広報紙」と表記されており、統一してはどうか。	46	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所その他箇所については広報紙へ統一するとともに、該当箇所について以下の通り修正しました。 「印西クリーンセンターや市役所などにおけるダイオキシン類濃度の測定、市内公共施設における空間線量率※の測定を行っていますが、継続的に良好な環境が維持されており、ホームページや広報を通じて測定結果を公表しています。」 ↓ 「印西クリーンセンターや市役所などにおけるダイオキシン類濃度の測定、市内公共施設における空間線量率※の測定を行っています。」	48
112	「監視カメラの増設」とあるが、「監視カメラの運用」としてはどうか。	48	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所については、以下の通り修正しました。 「監視カメラの増設」→「監視カメラの運用」	49
113	排出されたゴミについては減量化や分別→排出されたゴミについては減量化や分別・再利用などの将来的には例えば生ごみの肥料化やバイオマスによる発電などが考えられます。	48	回答	ご意見としていただき、第6章区域施策編の取組内容の参考とさせていただきます。	-
114	「捨てづらい環境づくり」とあるが、「捨てられにくい環境づくり」へ修正してはどうか。	49・50	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所については、「捨てられにくい環境づくり」に修正しました。 また、該当の取組内容については、以下の通り修正しました。 「不法投棄の監視体制について、市民との連携体制を構築し、捨てづらい環境づくりに努めます。」 ↓ 「不法投棄やポイ捨てがされにくい環境づくりに向け、土地の所有者へ情報提供・意識啓発を行うほか、市民との連携体制を構築します。」	50
115	環境美化活動の推進について、「歩行喫煙、ポイ捨て等防止条例の適正な運用を図り、環境美化意識の向上を図ります。」を追加してはどうか。	50	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所以下に以下の通り追加しました。 「歩行喫煙、ポイ捨て等防止条例の適正な運用を図り、環境美化意識の向上を図ります。」を追加しました。	50
116	8割が焼却され、年間約140万トンにおよぶ衣料廃棄物が問題であると考えられるため、衣料廃棄物のリサイクルやリユースなどに関する指針を示してはどうか。	51	回答	ご意見としていただき、リサイクルやリユースに関する指針は、「第3次印西市ごみ減量計画」を踏まえて示すこととしました。	52
117	「個別目標 2 3Rの推進」について、方針でもRefuse(リフーズ)に触れている。最近ではこのほかにRepair(リペア)などを含む5Rが一般的になりつつあるが目標の提示でありながら現状の3Rのままではいいのか？	51	修正	リフーズやリペアはリデュースに含まれるという考えのもと、個別目標は現状の3Rとしました。該当のリフーズに関する記載については、誤解を招くため削除しました。	51
118	施策の内容「ごみの再使用の推進」とあるが、「再使用」はごみを再使用するのではなく、ごみになる前に再使用する意味であるので、単に「再使用の推進」など別の言い回しの方が良い。	52	修正	ご指摘を踏まえ、また、第3次印西市ごみ減量計画と整合を図り、該当箇所については、以下の通り修正しました。 「ごみの再使用の推進」→「ごみの分別・リユース・リサイクル」	52
119	施策の内容「ごみの再使用の推進における記載事項 1 つめ「個人におけるエコバッグ～」を<ごみの発生抑制の推進>に移動されたい。	52	修正	ヒアリングを踏まえ、エコバッグ・マイバッグについては既に普及していることが考えられたため、該当する取組は削除しました。	52
120	ごみの減量化・資源化の推進における、記載事項 3 つめ「リサイクル情報広場の設置～」を<ごみの再使用の推進>に移動されたい。	52	修正	ご指摘を踏まえ、また、第3次印西市ごみ減量計画と整合を図り、該当箇所を「ごみの分別・リユース・リサイクル」に移動し、以下の通り修正しました。 「リサイクル情報広場の設置などにより、市内のリサイクル活動を支援します。」 ↓ 「リサイクル情報広場事業や子ども服リユース事業（おさがりマルシェ）を継続し、市内のリサイクル活動やリユース活動に関する意識啓発を行います。」	52
121	「基本目標4 省エネルギーの推進」の指標に「温室効果ガス排出量」とあるが、運輸部門とか工場部門の排出量はこれ以上下げられない段階にある。民生部門が非常に大きい。カーボンニュートラルを目指すのであれば、どこに力をいれるか分かるような数値を示してはどうか。	54	回答	ご指摘を踏まえ、部門別の排出量について第6章区域施策編でどこに力をいれるか分かるような表現に努めてまいります。	-

No	ご意見	修正前素案 該当ページ	対応	素案への対応方針	修正後素案 該当ページ
122	「市内の家庭や事業所におけるグリーンカーテンの設置を促進します。」とあるが、グリーンカーテンについては、家庭や事業所だけではなく、公共施設も積極的に設置していく必要性があるため、下記表現を追加したらどうか？（例）・・・促進するとともに、市内の公共施設への設置を推進します。	55	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所を以下の通り修正しました。また、「市の率先行動」に移動しました。 「グリーンカーテン用種子を配布するとともに、グリーンカーテンコンテストを実施し、市内の家庭や事業所におけるグリーンカーテンの設置を促進します。」 ↓ 「市内公共施設におけるグリーンカーテンの設置を積極的に行うとともに、クールビズや冷暖房の温度管理を徹底するなど、省エネルギー行動を率先します。」	56
123	1項目目「環境保全課」とあるが、再生可能エネルギー設備等の設置は、各施設管理担当課がそれぞれ取り組むべき項目であるため、担当課に「関係各課」を追加したらどうか。	57	修正	ご指摘を踏まえ、取組担当課に「関係各課」を追加しました。また、該当箇所を「市の率先行動」に移動しました。	56
124	現状と施策展開の方針4段落目「今後は・・・ふれあいバスの運行ルート・運行本数の拡大など・・・」を「今後は・・・ふれあいバスの運行ルートの再編など」としてはどうか。	58	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所については、以下の通り修正しました。 「今後は・・・ふれあいバスの運行ルート・運行本数の拡大など、交通環境の整備を進めていく」 ↓ 「環境にやさしい交通環境の整備に向けては、ふれあいバスの運行ルートの再編やデマンド交通の実施、歩道や駐輪場の整備・充実などを促進する」	54
125	「市民・事業者」とあるが、59頁と整合のため、「市民・事業者・研究機関」としてはどうか。	58	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所については、以下の通り修正しました。 「市民・事業者」→「市民・事業者・研究機関」	55
126	指標部分に、把握することが難しいが、充電ステーションなどの設置数について指標に加えてはどうか。	58	回答	ご指摘を踏まえて検討しましたが、具体的な把握が難しく保留としています。	-
127	「市民が・・・、ふれあいバスの運行ルート・運行本数の拡大に努めるとともに」を「市民が・・・、ふれあいバスの運行ルートの再編に努めるとともに、」としてはどうか。	59	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所については、以下の通り修正しました。また、取組については、第6章区域施策編に示すこととしました。 「市民が利用しやすい交通環境の整備に向け、ふれあいバスの運行ルート・運行本数の拡大に努めるとともに、交通不便地域における交通機関のあり方について検討し、公共交通機関の利便性向上を図ります。」 ↓ 「市民が利用しやすい交通環境の整備に向け、ふれあいバスの運行ルートの再編やデマンド交通などの実施に努めるとともに、市民ニーズや地域の状況に応じた移動手段を、事業者、関係機関及び行政が協力のもと確保できるよう検討していきます。」	91
128	「また、将来の～から、学校を通じた環境教育としてボランティアによる出前講座の実施など、子どもたちへの環境教育の充実を図っていきます。」とあるが、学校で行っている環境教育としては、各教科等の学習内容で環境に関するものを扱うことが主となる。学校によっては、総合的な学習の時間で環境に関する単元を設定したり、クリーン推進課の出前講座を活用したりしている。ボランティアによる出前講座の実施の実績はほとんどないため、「環境に関する情報や教材の提供、学校図書館における環境コーナーの書籍の充実・活用を進め、環境に関する学習内容の充実を図っていきます。」と記載したい。	61	修正	ご指摘を踏まえ、該当箇所については、以下の通り修正しました。 「学校を通じた環境教育としてボランティアによる出前講座の実施など、子どもたちへの環境教育の充実を図っていきます。」 ↓ 「環境に関する情報や教材の提供、学校図書館における環境コーナーの書籍の充実・活用を進め、環境に関する学習内容の充実を図っていきます。」	58
129	指標「学校支援ボランティア登録数」とあるが、環境教育にかかわる学校支援ボランティア登録者はほぼいない（「環境整備」での登録はある）ため、指標を「学校図書館における環境教育に関する蔵書保有校数」または「学校図書館における環境コーナーの設置校数」にしたい。	61	修正	ご指摘を踏まえ、該当する取組については、以下の通り修正しました。 「学校教育における環境学習の機会を設けるほか、出前講座を実施するなど、学校における環境教育を推進します。」 ↓ 「職場体験学習や自然体験学習などの環境学習の機会を設けるほか、学校図書館の書籍の充実・活用を進めるなど、学校における環境教育を実施します。」	58
130	施策の内容「学校教育における環境学習の機会を設けるほか、出前講座を実施するなど、学校における環境教育を実施します。」とあるが、「学校教育における環境学習の機会を設けるほか、学校図書館の書籍の充実・活用を進めるなど、学校における環境教育を実施します。」としたい。	62		ご指摘を踏まえ、該当する指標については、以下の通り修正しました。 「学校支援ボランティア登録数」→「学校図書館における環境教育に関する蔵書保有校数」	
131	「生涯学習として、環境イベントや市民アカデミーなどを企画・開催します」とあり、イベントについてはP36にも記載があるが、環境保全課と生涯学習課の区別はどこにあるのか。生涯学習課として「環境」をテーマとする事業を実施しない予定であるため、「企画」を削除していただきたい。例えば、担当課を貴課と併記にはできないか。参考につけ加えると、過去数年をさかのぼっても当該事業で環境イベントの実績はありません。またアカデミーにおいても、クリーンセンター見学程度であり環境問題等に関する講座の開催は実績ありません。	62	修正	ご指摘を踏まえ、該当する取組については、以下の通り修正しました。 「公共施設における生涯学習として、環境イベントや市民アカデミーなどを企画・開催します。」 ↓ 「市民の学習ニーズや年齢層に合わせて、環境をテーマとする市民アカデミーや出前講座の実施を推進します。」	58
132	生きものの保護・保全のための章を設け、谷津を中心に保護・保全するための施策作り、あるいは、生物多様性印西市地域戦略を策定などを検討する。戦略にこだわらず、たとえば、保護重点区域を定めるための道筋を定めるだけでも、具体策に一歩踏み出したらどうか。	-	回答	現時点では、生きものの保護・保全のための施策・取組は「個別目標2：生きものの生息・生育空間の保全」で扱うこととし、変更は保留しています。	-
133	基準値が10年先でない目標値が読めないというものでなければ、中間的な目標値を定めてはどうか。	第4章	修正	ご指摘を踏まえ、中間的な目標値を定めました。	-
134	基準値と目標値について、各施策の指標に対する基準値と目標値が調査中と検討中とありますが、これらについては基本計画が発行される段階で明記されるのでしょうか。	第4章	回答	各施策の指標に対する基準値と目標値については基本計画が発行される段階で明記されます。また素案段階でも、調査が終わり次第お示しして参ります。	-
135	空き家があると、火災リスクとか、有害生物がすみ着く恐れがあるが、空き家対策に関する対策を記載してはどうか。	第4章	回答	現時点では、空き家対策は建築指導課の計画により対策を推進することとし、変更は保留しています。	-